

発行
特定非営利
活動法人
さんしょうの会

さんしょうの会

〒506-0807
高山市三福寺町129
Tel/Fax(0577)
32-8709

20歳の門出を祝う会&新年会

清見町の Cafe & Rest Room 335にて、1月31日(土)、20歳を迎えた浅尾一喜さんを祝う会と新年会が開かれ、64名が参加しました。

◆開会あいさつ・司会

冒頭、熊崎元康理事長より開会のあいさつがあり、司会は荒川鉄矢さんと岩島龍さんが務めました。楽しく歓談しながら美味しい料理を食べました。

◆主役の登場

今年20歳になった浅尾一喜さんは、ネクタイを締めたスーツ姿で登場。利用者の仲間から花とケーキが贈られ、晴れやかな笑顔を見せられました(写真下)。



◆思い出を振り返るスライドショー

続いて、仲間たちの日々の姿を収めたスライドショーを鑑賞。昨年の新年会の様子や日々の販売活動、第2から10周年記念バス旅行など、余暇活動の写真に、参加者は思い出を語り合いながら見入っていました。

◆音楽で大盛り上がり

石原真悠子先生による「音楽の



会・新年会バージョン」では、歌って踊って大盛り上がり(写真下)。「手のひらを太陽に」「幸せなら手をたたこう」など、みんなの大好きな歌が続きました。



パネルシアターは、「ねこのお医者さん」。鼻づまりも不眠症も、「ニャーッ!!」と気合い一発で治ってしまうユーモラスな展開に、会場みんなが釘付けになりました(写真下)。



◆ご当地ソングコーナー

荒川鉄矢さんの提案で、「ケンミンSHOW ご当地ソングコーナー」が登場。「北海道といえば中島み

ゆき、歌は『糸』』というリクエストに、石原先生が携帯で楽譜を調べ、その場で伴奏してくださいました。

◆20歳の門出に贈る歌

浅尾一喜さんに贈る歌として、「翼をください」を参加者全員で合唱。会場が一体となる、心温まるひとときとなりました。

◆フィナーレは元気いっぱい

音楽の会の最後は「元気100%」を歌い、元気いっぱいに締めくくりました。

◆お楽しみのビンゴ大会

会の最後のお楽しみは、ビンゴ大会。「リーチ!」と大きな声が飛び交い、「ビンゴ!」の瞬間には、好きな景品を手にした参加者の嬉しそうな笑顔があふれました。

◆閉会

閉会のあいさつは荒川美奈子副理事長。最後に岩島龍さんの三本締めで、和やかな雰囲気のままお開きとなりました。

「うちの子に使えるサービスって何だろう？」をテーマに 「みんなの未来を考える会」が第1回勉強会を開催

1月20日、総合福祉センターにおいて、さんしょうの会のメンバーが中心となって結成した「みんなの未来を考える会」が主催して、第1回勉強会を開催しました。当日は、支援学校に通う生徒の保護者、福祉事業所の関係者など30名が参加。

◆福祉サービスや制度を学ぶ

講師として、高山市福祉課と高山市障がい者支援センターの方をお招きしました。前半は、利用できる福祉サービスや支援制度について説明をしていただきました。

◆不安や疑問を語り合う

後半は参加者を2つのグループに分け、講師の方と直接意見交換を行いました。今後の生活への不安や疑問などについて質問したり、それぞれの思いを共有したりする時間となりました。話し合いの中では、現時点での課題も見えてきました。



ビデオプロジェクターを使った報告を聴きいる参加者ら

◆次回へつながる学び

参加者からは「話を聞いて参考になった」という声も聞かれました。終了後にはアンケートにもご協力いただき、その内容を踏まえて第2回勉強会につなげていく予定です。今回は参加できなかった方も、ぜひ次回ご参加ください。みんなで、みんなの（親も子も）未来を少しずつ考えていきましょう。

総会の案内

- ◇2026年度総会
- ◇5月23日（土）午前10時
- ◇総合福祉センター

会員登録のおねがい

来年度の会員登録をお願いします。

◇正会員（会費2千円）＝総会に出席、発言、議決権を有します。

◇一般会員（会費千円）＝総会に出席、発言できますが、議決権はありません。

◇会員には、「会」の会報が届きます。同封のゆうちょ銀行で振り込みいただけます。

◇総会に欠席される正会員の方は、委任状を提出してください。

【お願い】

ご家庭でご不要な高山市可燃ゴミシール（令和8年度）を譲ってください。

みんなで作った夏の色 「なついろあつめ」入賞

◇グッズデザイン賞に入賞

このほど、第18回きょうされんグッズデザイン賞コンクールで入賞しました。作品名は水彩画「なついろあつめ」です。山下ちはる先生の指導で行っている「臨床美術の会」で作成しました（写真右）。

◇8人でつくった作品

この作品は、小鷹侑大さん、熊崎元啓さん、鷺見拓真さん、浅田康愛さん、鬼淵夕さん、澤田まりあさん、船坂真理さん、高原里佳さんの8人による共同制作です。

◇夏から感じた色を重ねて

それぞれが「夏から感じる色」を選び、画面に自由に塗っていききました。さらに紙を少し傾けたり、やさしく揺らしたりしながら色を混ぜ合わせ、思いがけない美しい色合いが生まれました。8人の力が合わさったからこそできた、楽しくのびやかな作品です。

◇作者の思い

「偶然できたきれいな色を見て、



みんなが楽しい気持ちになってくれたらうれしいです」

なお、この入賞作品は2027年のきょうされん卓上カレンダーの表紙に使用される予定です。